

# 報 廣 ま っ だ い

昭和44年 5月30日 発行  
 第 132 号  
 東頸城郡松代町公民館  
 館長 富沢清次  
 電話 松代 1 番  
 印刷 松代印刷所

## 新町長に秋山利作氏

### 議会生活二十余年のベテラン

任期満了にともなう松代町長選挙は告示が五月四日、メ切日を五月七日としましたが、メ切を終って申込み者は町議会議長であった秋山利作氏一名のため無選挙と決定し、十九日新町長が初登庁されました。

午前八時三〇分出迎えの職員整列の中を笑顔で登庁された、秋山新町長は、早速各課長を初め役場職員を集め、就任の挨拶を行ない今後の町政担当の責任者としての決意と要望をのべられました。引続き、柳前町長との事務引継ぎにのぞまれました。



松代町長 秋山利作

### 就任挨拶

このたび、町民各位の御支持によりまして、町長に就任の榮に浴し、責務の重大さを痛感いたしました。すとともに、新たな覚悟をいたす次第でございます。

私は昭和二十二年自治法施行とともに議会議員として公職につき町行政の一端に参画し、微力ながら現在までつとめてまいりましたが、今度立場を異にして、直接執行を担当する首長としてご信任を受けましたことは偏に町民各位のご支援によるものであることは申すまでもないことでございます。

新しく町長に就任されました秋山氏は六二才で、昭和二十二年より二十余年間にわたり松代町の議会議員として町政の決議機関で活躍され、この間議長職にもつかれ現在も議長として町行政推進の為に尽力されて来られたものです。今後執行の最高責任者として、今までの数多い経験を生かされて活躍されることと思ひます。かねてよりその手腕力量は定評あるところですので、町民の期待するところ大なるものがあります。尚就任に当り町民各位に挨拶をよせられましたので掲載致します。

町政については、私は全くのしろうとでございますので、過去の経験から得た体験を十分活用いたすことにより、とりあえず町政の責任者として、速やかに、あらゆる施策を検討いたし、松代町の発展をめざし、地方自治の精神に基づき、より一層向上するよう、全力を尽したいと考えております。然しながら、どのような理想をとなえましても、財政の裏付けが伴ないませぬと、如何なる良施策も空論に終わります。

まず健全財政の上になつてすべての方針をたてるべきものと、考えます。それがためには、消費的経費の節減につとめ、投資的事業を推進し、農業構造改善、山村振興、辺地振興等の国、県補助事業に力を入れたいと考へております。町民福祉施設として、教員住宅町営プール、総合グラウンド、保育所などを充実することにより、過

疎対策の一助としたい考えです。次に国の指導に基づき、町税の軽減や、種別の町単独事業、学校教育関係の税外負担は順次軽減して将来は全廃したいと思ひます。いづれにいたしましても豪雪地の悩みを脱却する為に、国道二五三号線の早期整備、北越線の促進など関係機関の協力を得て実現に努力致したい所存でございます。町政は住民各位に直接した、いわゆる第一線であります。私の念願である「明るくゆたかで清潔な町づくり」に一層ご指導、ご支援を重ねてお願い申し上げます。町民各位のご健康を祈り、就任のご挨拶にさせていただきます。

### 御苦勞様でした柳町長さん

役場職員の手の中で離庁十二年間の町行政の首長として数多くの業績と功勞を残された。柳幡蔵氏は五月十七日、任期満了にともなう離任式を終えられ、役場職員全員整列の中に役場庁舎を去って行かれました。

この日十一時より役場第一会議室において、全職員に最後の訓示を行ない「地方公務員としての職務を忠実にこれからも履行してもらいたい」旨の要望を含めて、静かに話をつづけられ、十一時三十分、女関先に並んだ職員の最大な拍手の中に、静かに車に乗られ、去っていきましました。

昨年は病いの身をおかしてまで町政の責任者として、仕事を進めておられましたその責任感の強さに深い敬意を表すると共に、離任式にも病院より登庁されるといふ現状の中で、充分健康の回復に留意され、今後あらゆる面での御活躍を心からお祈りするものです。

# 臨時町議会開かる

## 議長に小堺盛一氏が



議長に決まった氏  
小堺盛一

五月二十七日、松代町議会では臨時議会を召集、町長就任（前議長）による議長の選挙等を決定しました。

当日は午前十時より開会し次の議題につき議決を行いました。

議第一号 議長選挙について選挙の結果は次の様に次定  
議長 小堺盛一  
副議長 石野勝以  
議第二号 新潟県交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数

### 各戸に郵便受箱を

五年以内に全戸に設置運動

郵政省では、昭和四十四年度から五カ年計画で郵便受箱を全戸に設置していただくこと、受箱設置を全面的に展開中です。松代局の話によると

郵便受箱がないと不在、休業などの場合、持ちもどりなど郵便配達に支障があるほか、雨天などの際には配達された郵便物の保護にも問題があり、また郵便物の安全確保、誤配達防止をはかるためには、どうしても受箱が必要とのことである。

なおこの運動を進めるにあたり松代局の窓口に見本として（郵政省標準規格で一ヶ六九〇円の全面均一値段）実物を展示中で販売のあつせんをしています。  
寸法 横三〇cm縦二二cm奥行一四cm 差入口三、五cm×三〇cm 特長はほとんどの郵便物がきちんと入る寸法で鋼板を使用しており、

の増減及び規約変更について。（当町には関係ありません）

議第三号 松代町税条例の一部を改正する条例の制定について  
△概要▽個人の住民税等について負担の軽減合理化を図ると共に、特別徴収の納期の数を増加し、負担の便易を図るため、地方税法の一部を改正するのであるが、その概要は次のとおりである。

1. 市町村民税
  - (1) 障害者、未成年者、老年者又は寡婦について非課税の範囲を年所得三〇万円（現行二八万円）に引き上げる。
  - (2) 専従者控除額の控除の限度額を、青色申告者については、専従者給与の限度額が廃止さ

ラミン樹脂の焼付塗装で赤色の丈夫なものです。

### ◎簡保の融資施設の写真募集

第一回〆切は十月末日

簡易保険の掛け金は、保険金の支払いのために積み立てられ、県や町村等へ融資されていますが、それを受け出された施設の写真を公募いたしております。

くわしいことは、松代郵便局の関谷八郎さんへ連絡問合せください。

### ラケットの音も快よく

卓球教室が毎週水曜日に

前年十二月より準備を初め、本年二月十五日に発足しました。松代町卓球協会（会長 万羽卓司）では、その年間事業計画の中に「卓球教室」を設け、卓球人口の増加と技術の向上に資することになりました。

毎週水曜日の午後七時より、町

れ、適正な専従者給与に改められ、完全給与制となった。白色申告者については限度額一五万円（現行一十万円）に

- (3) 所得控除額を
- 。配偶者控除額一〇万円（現行九万円）
- 。扶養控除額
- 配偶者がいない場合一人当り九万五千円（新設）
- 配偶者控除を受けない場合一人 八万円
- 扶養親族の二人目 六万円（現行五万円）
- (4) 障害者控除額 一人七万円
- (5) 基礎控除額 一二万円
- (6) 特別徴収納期 一二期

議第四号 昭和四三年度松代町農業共済事業特別会計業務報告並に決算の認定について

尚議長に選ばれた小堺盛一氏（五三才）は町議三期のベテランで前副議長の要職にあり、議会運営にも参加されてこられた人です。

公民館のホールにおいて九時半まで行っております。このことにつき、万羽会長は次の様に語っていただきました。

「この町では永い冬期間と、体育施設がまだ完備とまではいつていない現状の中で、進めて行きたい室内スポーツの一貫として、協会では卓球教室を開校することになりました。どんな初心者にも、それぞれコーチをつけ、進んで楽しめるスポーツの中に参加していただける様に配慮してあります。ただ卓球人口を増加させるだけの目的ではなく、どなたでも気軽に楽しんでいただき、自らの体力づくりをはかっていただきたいものと考えています。」

尚五月二十一日の第一回では、年ばいの方々も見えられ、熱心にラケットを握っておられる姿が、ほぐえましい光景として、注目を集めていました。係ではどなたも誘い合せて参加されることを希望しているのとことです。

**本年度部落囑託員が決る**

今年の町内各部落の囑託員さんが左記のとおりきまりました。今後皆様と町役場との連絡等にいろいろとお世話をおかけすることになりますのでよろしくお願いいたします。

会池千下池小田菅太小松	沢尻年山畑丸沢刈平戸代	万室関宮市柳市相市山宮	羽岡谷沢川川沢昭四郎	正政清義軍敏甚四郎	雄訓栄孝平郎貢藏郎
-------------	-------------	-------------	------------	-----------	-----------

儀蒲名寺謙小筋田仙田学	明生平田峠貫平代納倉鳥子	中滝片孟犬海東蓬桐清	子沢山地伏老山平山水
-------------	--------------	------------	------------

小小菅井中	高若山	齊柳齊	柳佐柳	柳柳若	山岸若	小片
界界井上	沢清一	岸月	藤富喜	木政一	和昌三	山桐
欣又彦	誠郎	武熊	喜美	武一	昌三	善一
一七一	誠郎	一雄	男次	平雄	郎男	弥茂

木和	竹室	奈良	福島
和田	濁所	野立	
原			

中牧	佐藤	中条	若山	柳瀨	西瀨
沢田	忠静	要治	新治	莞正	
常雄	左雄	郎	作行	雄	

**たばこは 町内で買しましょう**



代金の一部が町の収入となり皆さんのお役にたちます。一箱でもよそで買われますとよその市や町の収入になつてしまいます。



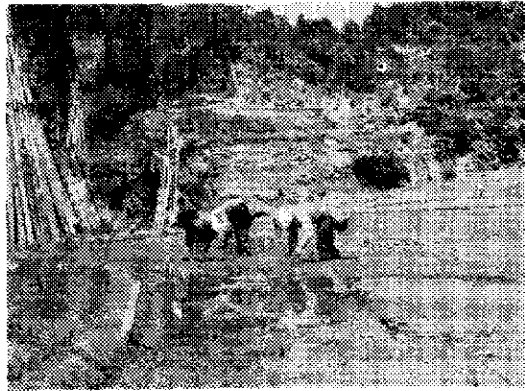
**A 「あっ危い！」**

道路の横断は確認してから

ごらん下さい、道路の飛び出し



を……。

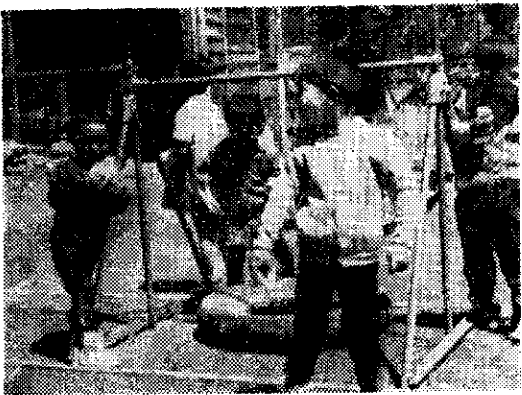


安全週間の道路上での一こまです。年々交通事故による被害者が増加しています。道路の横断は左右の確認と、手をあげてを實行する様にいたしましょう。道路の列横歩きは、ただ車との危険ばかりでなく、歩行者にも迷惑になりますので、ぜったい止めましよう。

**B**

田植はじまる

天候のぐらつきやすい五月下旬、町内ではあちこちに田植作業



**C 季節保育所開設される**

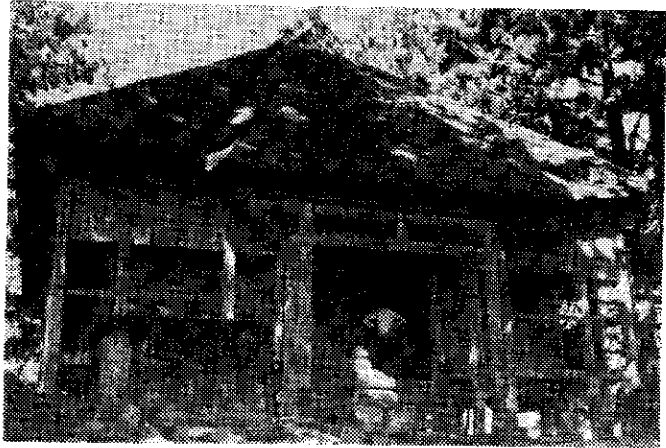
町内には三つの常設保育所があるが、農繁期をむかえ、犬伏、田沢の二部落に今年も季節保育所が開設されました。猫の手もかりたいと思うこの時期に母親は安心してと語っていました。

に懸命な姿を見かけます。今年は何れ年よりも早目で、六月上旬にはほとんど終るといふことです。秋の収穫の多いことを心から祈りましょう。

## 町の文化財めぐり

(一)

### 松苧神社



(松苧神社々殿)

突元とした岩山には五葉松の連山、県立自然公園の一角、三百六十メートルの松苧山頂に奴奈川姫命を祀る社で、古来東頸城郡東部松之山郷六十六ヶ村の総鎮守として信仰され、男児生れて七才に達すれば毎年五月八日に七つ詣りと称して必ず山頂に登って祈願する慣習が今に残っている。

#### 一、社殿

平城天皇の大同二年に飛騨工匠が坂上田村麿の命を受けて創建したものといわれている。其の後何回か移転されたり改築されたものらしいが、現在の建物は天正七年(一五七九年)上杉景勝が直峰城(安塚)主樋口伊予守兼豊や犬伏城の者に協力して改築させたことが棟札代用の銘文として棟木に書かれている。

#### 【注】

犬伏城主小森沢政秀は天正七年に主君上杉景勝と争っていた上杉景虎に味方して兵を挙げた北条輔広を討つために主君に命ぜられて刈羽方面に兵を進めたので不在中であった。  
斎藤秀平氏著 新潟県史  
小森沢文書

間口五間、奥行八間、木造茅葺の建物で、新大の教授をされた故金原省吾氏は実地調査をされて「椽の高いところ等平安時代の建物を思わせるものであるが鎌倉末期か室町時代の建築であろう。何回か建直した形迹があり、最も古いところは○で、次ぎは□形の柱で、外側の新しいところは普通の四角柱である。神社形式としては珍らしいもので、山伏の道場を思わせる建物である。」と鑑定された。

(町公民館員 富沢清次郎)

## 部落公民館めぐり

### 海老部落公民館の巻

部落の中央に建つこの公民館は一際目立つ木造二階建てで、活動部屋数四室、階上四十三畳、階下十八畳と大きな建物である。部落公民館の組織は四十二年にその設置を見たが、その前から部落の集会所としてあらゆる面で利用してきたもので、文字通り部落の文化センター的な役割りを果たしてきた。

松代町の南端にあるこの部落は公教育としての公民館活動はまだ軌道に乗ってはいないが、部落作りのために懸命な努力を重ねている。昨年度は部落民こそっての健康管理に取組み、大島保健所と提携し、移動保健所を開設。レント

ゲン、検尿(腎臓・肝臓など)血圧血沈の検査、食生活の相談室、環境衛生の相談室など、積極的な動きを示めた。

又学習活動では、殆んど婦人学級、老人クラブなどに限られているが、この内容も人間形成への課題を取上げそれに多くの時間が割りふられている。御多分にもれずこの部落も変動する世相の中の青年層減少を余儀なくされ、今後の大きな問題点をかかえている様であるが、隣村東山地区の農業構造改善事業を目のあたり見、これからの部落作りのあり方に再検討を加えるべくつとめる姿には敬意を表したい。

ともあれ山積する部落の問題点の一つ一つを着実に解決していくには多くの日時を要することだが部落公民館が中心となって、一丸となった部落作りを、具体的に示

し出す日の遠くない事を信じつつこの館にさよならする。

### 「灯」原稿募集

「広報まつだい」では、この紙面を皆様との心の結びつきにしたいと考えています。是非紹介したいこと、隠れた善意をお寄せ下さい。

- 一、心温まるお話。
- 二、紹介したい出来事。
- 三、建設的なお考え。

など、とかく殺風景な話の多い世の中で、町内に心温まるお話を聞くことは大切な事になって来ました。皆様の周囲で、こんな人が、こんな事を……とお書き下さって松代町公民館「広報」係宛にお送り下さい。多くの人達から尊い灯をとぼしていただける様、ご協力をお願い申し上げます。